



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1772号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 岩崎 守幸 幹事 飯田 守



広重版画より 三島 朝霧

第1834回例会

2010.4.8晴

司 会

森崎祐治君

ロータリーソング

「我等の生業」
指揮 佐々木雅浩君

会長挨拶

会長 岩崎守幸君

“会員増強の意義”

- ① 毎年会員の自然減が5～10%とみられる。そのため、毎年新しい会員の補充が必要。
- ② 組織を生き生きとさせるためには常に新しい血の導入が必要。
- ③ クラブ活性化の為、老、壮、青のバランスを保ち、若返りが必要。
- ④ 会員増強と拡大は、毎年R I会長の最重要課題となっている。
- ⑤ 誰かの推薦によって自分は入会したので、この特典を他の人にも分かち合いたい。
- ⑥ 会員増強は財政や奉仕活動推進のために大きなプラスになる。
- ⑦ ガバナーの任務の最大課題は会員増強と拡大とされている。ロータリーは創始以来、一貫して会員増強に努めてきました。
- ⑧ 奉仕活動上、プロジェクトの数や規模にとって有利となる。
- ⑨ 地域社会の職業的な横断面を表すべきで、可能な限り地域に存在する職業分類を網羅することが必要。
- ⑩ 会員の増強によって奉仕の理想を推進できる。

①既存のクラブでは世界の会員数の平均は減少傾向であり、会員増強が必要。

会員を増やし、十分な貢献に必要なロータリー情報を提供することはロータリーの未来へとつなげていくことです。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	41/49	83.67%	47/49	95.92%
今回	37/50	74.00%	会員総数	55名

欠席者 石井(彰)君、石井(良)君、遠藤(正)君、窪田君、鈴木(貞)君、鈴木(正二)君、鈴木(雅)君、瀬川君、千葉君、花房君、前田(房)君、室伏君、柳田君

幹事報告

幹事 飯田 守君

今後の予定

- 4月8日(木) 親睦例会
- 4月15日(木) 卓話 古川喜仁君
- 4月22日(木) ミニロータリー情報
会員増強委員会
- 4月29日(木) 祝日休会

2009～2010年度
国際ロータリー会長
ジョン・ケニー

ロータリーの未来はあなたの手の中に

委員会報告

★IM報告書作成委員会

委員長 野田和秀君

- ①本日例会終了後、Cテーブルに委員の方お集まり下さい。報告書の原案ができましたのでチェックをお願いします。
- ②IMの写真アルバムの回覧及び申し込みの件につきまして、次週例会を最終申し込み締め切りとさせていただきますのでよろしくお願いします。

親睦例会



ROTARY NEWS

「ハイチの救援から長期的復興活動へ」

ハイチのロータリアンが、復興の次の段階をめざす活動の土台づくりに力を入れています。それは、長期にわたる復興を支える継続的な復旧プロジェクトです。

去る1月12日にハイチを襲った大地震では、30万人が亡くなり、120万人が家を失ったほか、国内のインフラは壊滅状態となりました。これを受け、復興を支援するためにロータリー財団が設けた使途推奨冠名基金、ハイチ大地震救援基金には130万米ドルが集まっています。

「私たちは今、緊急援助から継続的な開発へと移行する転換期にある」と話すのは、ハイチ大地震救援基金の創設者の一人、パリー・ラシン元RI理事です。「重要なのは、ハイチの人々が決めたニーズのために活動すること。そして彼らの経済を低迷させることなく、回復をサポートすることです」

ハイチを含む第7020地区はこれまで、飛行機100機以上に医療品、食糧、水、衣類、玩具、テントなどを積んで、ピニョンとポルドベへ送りました。地区が独自に設けた復興活動用の口座には40万米ドルが集まっています。この資金は継続的な復旧プロジェクトに使用される予定です。

復旧活動を監督しているハイチ支援グループは現在、長期的な計画を立てていますが、中でも特にニーズが大きいのが、学校の再建設、手や足を失った人への義肢の提供、そして雨季が訪れる前に何千人分ものシェルターを確保することです。

ハイチにある17のロータリー・クラブは、学校を1校でも修築し、机、本、文具、そのほかの教材を揃えて開校できる状態にしようと計画中です。学校の再建が優先されるのは、教育のためだけでなく、学校で少なくとも1日1食を提供し、子供たちが避難テントの外へ出て混乱から少しでも離れた環境で生活できるようにするためです。

義肢の提供も非常に重要です。地震による負傷で推定4千人が手や足を失い、義肢を必要としています。第7020地区は、委員会を任命し、義肢の提供に関心のある他団体と調整を図っています。さらに、3つの診療所(各診療所に必要な費用は5万ドル)も設置したいと考えています。

(週報担当：川真田裕)

三島西RCテーマ

一人はみんなのために、
みんなは一人のために